

学位被授与者氏名	谷田 兼一（たにだ けんいち）
論文題目	わが国における固定資産の減損会計—課題と展望—
論文審査結果の要旨	<p>わが国の「減損会計基準」（日本基準）は、減損に対して考え方の異なる国際会計基準（IAS36）と米国基準（SFAS144）の双方を組み合わせ（寄せ集めて）基準化されているために、減損の兆候・認識、測定、戻入れのそれぞれについて論理的に一貫性のない基準となっており、ここに基準自体に内在する重要な問題点や矛盾点を見出すことができる。本論文では、日本基準のもつこうした問題点や矛盾点を筆鋒鋭く指摘するとともに、揺るぎのないしっかりとした考え方に基づき、その解決・解消策についても提案している。その意味では、筆者のこうした試みは、本論文のなかである程度成功したといつてよいのかもしれない。ただもう少し余力と時間的な余裕があるのであれば、国際会計基準や米国基準については直接外国語文献に当たってほしかったと思う。とはいえ、固定資産の減損会計という難しい今日的課題に積極果敢に挑戦し、しかも一定の研究成果が得られたことについては、高く評価されてよいと思う。</p> <p>平成 24 年 2 月 23 日（木）に、北九州市立大学北方キャンパス本館 9 階の経済学部資料室において、審査委員会委員全員の出席のもと、最終試験を実施した。まず提出された論文について要旨・概要を説明してもらい、その後、審査委員との間で活発な質疑応答を行った。その結果、審査委員全員一致で、当該論文が修士（経済学）として十分に相応しい内容であると判定した。</p>